

令和3年度第5回「しがwebアンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和4年1月14(金)～ 1月21日(金)
- (5) 調査会社 株式会社都市設計総合研究所

3 調査項目

サイクリングに関する意識調査

4 主な調査結果

Q1 サイクリング(自転車を使用したレクリエーション活動。ただし、スポーツ、通勤、買物等の目的は除く)は三密を避けて実施できることから、コロナ禍でも比較的安心して楽しめるレジャーとして注目されており、滋賀県でもサイクリングの振興を行っています。あなたは滋賀県内でサイクリングをしたいですか。(答えはひとつ)

- | | |
|------------------|-------|
| 1 位:サイクリングをしたい | 48.2% |
| 2 位:サイクリングをしたくない | 34.0% |
| 3 位:わからない | 17.8% |

・「サイクリングしたい」と回答した人は、48.2%と一番多くなっている。

・「サイクリングしたい」と回答した人を、性別でみると、男性が 52.3%、女性が 42.1%と男性の方が10%以上多くなっている。また、年代別では、40歳以上が49%以上と全体の数字を上回っている。

Q2 Q1で「1. サイクリングをしたい」と回答された方におたずねします。滋賀県内でサイクリングを行う際の不安な点や不満な点について教えてください。(答えはいくつでも)

- | | |
|--|-------|
| 1 位:道路が狭い、交通量が多い、自動車ドライバーの運転マナーが悪
い等の理由で、車道の左側を走るのが怖い | 56.8% |
| 2 位:交通事故が心配 | 55.2% |
| 3 位:サイクリングの途中で休憩(トイレや飲食など)ができるか不安 | 35.3% |
| 4 位:サイクリングの目的地となるような魅力的なスポット等が少ない | 24.1% |
| 5 位:自転車の故障が心配 | 21.2% |
| 6 位:自転車を持っていない | 15.8% |

7 位:自転車の交通ルールや走行マナーがよくわからない	13.3%
8 位:地理に自信がなく、道に迷いそう	12.4%
9 位:自転車に乗れない、もしくはサイクリングする体力や技量に自信がない	8.3%
10 位:特にない	6.6%
11 位:その他	2.9%

- ・「車道の左側を走るのが怖い」と答えた人は、56.8%と最も多く、次いで「交通事故が心配」の55.2%となっており、走行することへの不安を感じる人が半数以上となっている。
- ・性別でみると、「交通ルールや走行マナーがよくわからない」と回答した人は、男性が9.6%に対し、女性が20.0%、「道に迷いそう」と回答した人は、男性が6.4%に対し、女性が23.5%となっており、女性については、ソフト面での不安を抱く人の割合が多いことが窺える。
- ・「魅力的なスポット等が少ない」と答えた人は24.1%となっており、走行するだけでは物足りないと感じる人が一定数存在することが窺える。

Q3 Q1で「2. サイクリングをしたくない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:自転車に乗ることが楽しいと思わない	42.9%
2 位:自転車を持っていない	27.6%
3 位:交通事故が心配	24.1%
4 位:道路が狭い、交通量が多い、自動車ドライバーの運転マナーが悪い等の理由で、車道の左側を走るのが怖い	22.9%
5 位:自転車に乗れない、もしくはサイクリングする体力や技量に自信がない	13.5%
6 位:特にない	11.2%
7 位:サイクリングの目的地となるような魅力的なスポット等が少ない	8.8%
8 位:地理に自信がなく、道に迷いそう	7.1%
9 位:自転車の故障が心配	6.5%
10 位:別のレクリエーション活動等をしている	5.9%
11 位:サイクリングの途中で休憩(トイレや飲食など)ができるか不安	5.3%
12 位:自転車の交通ルールや走行マナーがよくわからない	4.7%
その他	4.7%

- ・「自転車に乗ることが楽しいと思わない」と回答した人が42.9%と最も多く、そもそも自転車に乗ることに魅力を感じない人が半数近くを占めている。
- ・「交通事故が心配」の24.1%、「車道の左側を走るのが怖い」の22.9%など、走行することへの不安を感じる人も相当数に上る。

Q4 滋賀県では、自転車の走行環境整備の一環として、道路上に「青い線」や「青い矢羽根印」を表示しています。この「青い線」や「青い矢羽根印」は、おおよその自転車の走行位置を示しています。そのことを知っていましたか？(答えはひとつ)

1 位:知っていた	57.4%
2 位:知らなかった(このアンケートで初めて知った)	42.6%

- ・「知らなかった(このアンケートで初めて知った)」と回答した人は42.6%となっており、男性

が 38.6%なのに対し、女性が 48.5%であり、女性への浸透度が低いことが窺える。

Q5 琵琶湖一周サイクリングは「ビワイチ」と呼ばれており、滋賀県では誰もが親しみやすい「ビワイチ」を推進しています。あなたはビワイチをしたことがありますか？(答えはひとつ)

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1 位:知ってはいるが、ビワイチをしたことはない | 73.0% |
| 2 位:ビワイチを知らない | 16.8% |
| 3 位:ビワイチをしたことがある | 10.2% |

・「知ってはいるが、ビワイチをしたことはない」と回答した人は、73.0%となっており、知ってはいるものの、ビワイチの体験に慎重な人が多いことが窺える。

Q6 Q5で「1. ビワイチをしたことがある」と回答された方におたずねします。「ビワイチ」をして良かったことは何ですか？(答えはいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1 位:琵琶湖一周の達成感があった | 68.6% |
| 2 位:琵琶湖などの自然や風景を楽しめた | 60.8% |
| 3 位:食事を楽しめた | 23.5% |
| 4 位:歴史や文化を楽しめた | 21.6% |
| 5 位:一般にあまり知られていないスポットを巡ることができた | 19.6% |
| 6 位:走りやすかった(自転車の走行環境(道路)が整っている) | 13.7% |
| 7 位:特になし | 9.8% |
| 8 位:その他 | 7.8% |

・「琵琶湖一周の達成感があった」と回答した人は、68.6%と最も多く、次いで「琵琶湖などの自然や風景を楽しめた」の 60.8%となっており、半数以上の人々が琵琶湖の自然等に満足した様子が窺える。

・「走りやすかった」と回答した人は 13.7%にとどまっており、走行環境の整備が課題であることが窺える。

Q7 滋賀県は琵琶湖岸のみならず県全域へのサイクリングを進めるため、県内各地の観光地等を周遊する「ビワイチ・プラス」ルートを令和元年 12 月に設定し、各地域の特色ある魅力を発見するサイクリングの新たな楽しみを提供しています。あなたは、「ビワイチ・プラス」ルートやその一部を走るサイクリングをしたことがありますか？(答えはひとつ)

- | | |
|---|-------|
| 1 位:ビワイチ・プラス(その一部でも可)を知らない | 55.2% |
| 2 位:知っているが、ビワイチ・プラス(その一部でも可)でサイクリングをしたことはない | 35.8% |
| 3 位:ビワイチ・プラス(その一部でも可)でサイクリングをしたことがある | 9.0% |

・「ビワイチ・プラスを知らない」と回答した人は、55.2%と最も多く、半数以上の人々が知らない状況であり、知名度の向上が課題であることが窺える。

・「ビワイチ・プラスでサイクリングをしたことがある」と回答した人は、9.0%であり、実際に体験した人は少ない状況である。

Q8 サイクリストのマナーは、サイクリングルートとなっている地元と良い関係をつくる上で大変重要ですが、依然としてサイクリスト各個人のモラルによるところが大きいと考えています。滋

賀県内でサイクリングを楽しんでいる人の交通ルール順守や走行マナーについて、あなたが見て感じる印象についておたずねします。(答えはひとつ)

- | | |
|---|-------|
| 1 位:交通ルールの順守や走行マナーはできていない
(できていない人が多い) | 37.0% |
| 2 位:わからない | 34.4% |
| 3 位:交通ルールの順守や走行マナーはできている
(できている人が多い) | 28.6% |

・「交通ルールの順守や走行マナーはできていない」と回答した人が 37.0%と最も多く、「交通ルールの順守や走行マナーはできている」の 28.6%を上回り、サイクリストの交通ルール順守やマナー向上が課題であることが窺える。

Q9 滋賀県内において、地元住民や自動車ドライバーと、サイクリングをしている人が互いに良い関係を築くために、あなたが必要だと思うことについて教えてください。(答えはいくつでも)

- | | |
|---|-------|
| 1 位:自転車及安全・安心に走れる道路環境を整備すること | 63.8% |
| 2 位:自転車の交通ルールや走行マナーを周知すること | 59.2% |
| 3 位:地元住民や自動車ドライバーとサイクリングをしている人との相互交流と相互理解 | 23.0% |
| 4 位:サイクリングの魅力(体力・技量の向上、家族や仲間との親睦、レクリエーション)や意義(SDGsへの貢献、生涯学習活動の推進、観光産業の活性化など)を啓発すること | 20.8% |
| 5 位:滋賀県民自身がサイクリングを楽しむこと | 20.4% |
| 6 位:サイクリングの盛り上がりによる経済効果が見える化すること | 19.6% |
| 7 位:特になし | 12.4% |
| 8 位:その他 | 3.2% |

・「自転車及安全・安心に走れる道路環境を整備すること」と回答した人が 63.8%と最も多く、次いで「自転車の交通ルールや走行マナーを周知すること」と回答した人が 59.2%となっており、自転車に関するハード、ソフト両面での安全安心施策が必要と感じる人が多いことが窺える。

Q10 滋賀県では、誰もが楽しめるサイクリングを進めるため、目的地へのナビゲーション機能や観光情報等が無料で利用できる「ビワイチサイクリングナビアプリ-shiga trip-」を平成 30 年4月から提供しています。このアプリを使ってサイクリングをしたことがありますか。(答えはひとつ)

- | | |
|---|-------|
| 1 位:アプリを知らない | 83.0% |
| 2 位:アプリのことは知っているが、アプリを使ってサイクリングをしたことはない | 13.6% |
| 3 位:アプリを使ってサイクリングをしたことがある | 3.4% |

・「アプリを知らない」と回答した人は、83.0%と最も多く、アプリが殆ど知られていない状況であり、PR が課題であることが窺える。

Q11 「ビワイチ」、「ビワイチ・プラス」や滋賀県内でのサイクリングを、もっと盛り上げるために必要だと思うことを、ご自由にご記入ください。(自由記述)

500名のうち、268名の方(53.6%)からご意見をいただきました。

全体として、子ども等誰にとっても安全に走行できるよう、自転車専用道などを早急に整備することが必要などの意見が目立った。

- ・道路整備等ハード整備の必要性を挙げた人は81人と圧倒的に多かった。
- ・自転車のマナー向上等を挙げた人は 23 人で、これとは別に、車のマナー向上に限定したご意見は 4 人とどまった。
- ・PRの必要性を挙げた人は 13 人であった。
- ・休憩施設の整備等を挙げた人は 10 人であった。
- ・走行距離等に応じたポイント付与を挙げた人は 9 人であった。
- ・レンタル自転車の充実を挙げた人は 6 人であった。
- ・自転車の電車等への持込みの実現を挙げた人は 3 人であった。
- ・故障時に修理してくれる所の必要性を挙げた人は 3 人であった。

